

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	林 直樹	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	准教授
専門分野	経済学史・社会思想史		

I 教育活動

本年度担当科目	
	授業科目
学部	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、特別演習Ⅳ、社会思想史、経済学史、外国語講読Ⅱ、日本経済論
大学院	経済学史特論

II 研究活動

現在の研究テーマ（3つまで）

- (1) トマス・ペイズ研究
- (2) 初期近代ブリテン社会思想史
- (3) 欧米・日本経済学史

本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30

- R2 <研究ノート> ロバートソンはなぜカッシーラーを批判したか：『啓蒙とはなにか』を批判的に読むための補遺、単著、尾道市立大学経済情報論集20巻2号、1-8頁、2020年12月
 <書評> 田中祐子『公共的知識人の誕生：スウィフトとその時代』、単著、社会思想史研究44号、149-153頁、2020年9月
- R1 <論文> 「ウッドの半ペンス」再考、単著・査読有、マルサス学会年報28号、35-65頁、2019年3月（刊行は同年夏）
 <論文> ジャーナリストとしてのスウィフト、単著・査読無、尾道文学談話会会報10号、43-58頁、2020年2月
 <解説> ロバートソン『啓蒙とはなにか』を批判的に読むために、単著、webふらんず、2019年10月
- H30 <論文> アダム・スミス『修辞学・文学講義』を読む、単著・査読無、尾道文学談話会会報9号、15-34頁、2019年2月
 <事典> 言語起源論、単著、『社会思想史事典』丸善出版、200-01頁、2019年1月
 <翻訳> ロバートソン『啓蒙とはなにか』白水社、野原慎司との共訳、2019年3月

H29以前の主な研究業績

- (1) <著書> デフォーとイングランド啓蒙、単著、京都大学学術出版会、2012年6月
- (2) <論文> ミシシッピ・バブル後のブリテン：ジョン・ロー来訪をめぐる信用論争、単著、坂本達哉・長尾伸一編『徳・商業・文明社会』京都大学学術出版会、2015年3月
- (3) <論文> ダニエル・デフォー「ブリテン諸連合史」(2)、単著・査読無、尾道市立大学経済情報論集16巻2号、51-100頁、2016年12月
- (4) <論文> ダニエル・デフォー「ブリテン諸連合史」(1)、単著・査読無、尾道市立大学経済情報論集15巻1号、41-82頁、2015年6月
- (5) <書評> デフォー著・武田将明訳『ペストの記憶』、単著、週刊読書人3218号、2017年12月

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2

所属学会・所属団体 役職等と任期

経済学史学会（大会組織委員・西南部会幹事【任期2019.04-2021.03】）、社会思想史学会、日本イギリス哲学会、マルサス学会、経済社会学会、史学会、中四国商経学会

IV 社会活動

1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）

(1) エフエムおのみち「ユウガッタ・レディオ」出演（2020年9月23日）	
公開講座	□
講演会	□
出前授業	□
その他（ラジオ出演）	1 □